

6-2 調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ、新たな世代に受け継がれていくまち

施策 19

芸術・文化の振興

目的

対象 市民

意図 芸術・文化にふれる機会が提供され、芸術・文化活動が活発になる

施策の方向

市民が芸術・文化を日常的に身近なものとして楽しみ、また、自らいきいきと芸術・文化活動を行えるような環境を整備することにより、文化の香り高い、市民文化をはぐくむまちづくりを進めます。

施策のポイント

- 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づく、多様な主体と連携した市民の芸術・文化活動の支援
- 文化芸術基本法に基づく、産業・スポーツ・国際交流・教育・福祉など幅広い分野との連携による地域固有の文化資源の活用
- ラグビーワールドカップ2019™日本大会・東京2020大会を契機とした、様々な文化プログラムの実施などによる、だれもが芸術・文化を身近に感じられるまちづくりの推進
- 文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、郷土博物館、武者小路実篤記念館など市内の各施設間等の連携の検討

基本的取組の体系

施策 19

芸術・文化の振興

基本計画事業

19-1 市民の芸術・文化活動の促進

芸術・文化事業の実施

p.168

19-2 芸術・文化施設の整備・運営

芸術・文化施設の維持・補修

p.169

現状と課題

○ 調布市では、文化会館たづくりやグリーンホール、せんがわ劇場をはじめ、市内各地域で映画、演劇、音楽など多彩な芸術・文化事業を実施しています。映画・映像の分野では、「映画のまち調布シネマフェスティバル」をはじめ、映画・映像に関する様々な催しを開催するなど、「映画のまち調布」の推進に取り組んでいます。また、音楽・演劇の分野では、世界的に活躍する著名なアーティストを多数輩出している桐朋学園や市内在住の著名な音楽家が率いる演奏団体と連携した取組など、市民が芸術・文化にふれる機会の確保に努めています。



くすのきホール
(調布市文化会館たづくり)



大ホール
(調布市グリーンホール)



せんがわ劇場

○ 平成30（2018）年6月、障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が施行され、文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を図ることが示されました。

○ 調布市では、東京2020大会に向けて、日本の文化の継承や、市内で開催される競技等を文化施設の壁面にアートとして展示するなど、文化の発信と大会に向けた機運醸成を図る多彩な取組を展開してきました。さらに、市内の事業所等から出た端材・廃材を活用し、市内の学校や幼稚園、福祉作業所等との協力によりアート作品を作るワークショップや、市内の福祉作業所等で活動している方の作品を展示する「パラアート展」を継続的に実施するなど、だれもが参加できる企画や障害者理解の促進につながる企画を通じて、芸術・文化における共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

○ より多くの市民が優れた芸術・文化に触れ、気軽に芸術・文化活動に取り組むことができるよう、引き続き、文化施設以外の公共的な空間や民間施設の活用も含め、活動の場や発表の機会を適切に確保するとともに、芸術・文化を通じた市民や団体の交流を促進していく必要があります。

○ 調布市では、文化会館たづくりの設置に合わせ、調布市文化・コミュニティ振興財団が設立され、グリーンホールと文化会館たづくりの施設管理及び事業運営を行い、調布市とともに芸術文化の振興に取り組んできました。また、平成18（2006）年度からは、財団が両施設の指定管理者として管理運営を担い、安心・安全で快適な施設利用サービスと市民ニーズに応じた事業を行っており、平成31（2019）年度からは、せんがわ劇場についても指定管理者として選定され、3つの文化施設の更なる連携と財団のノウハウを生かした効果的・効率的な事業展開を図ります。

○ 市民の自主的な芸術・文化活動の拠点となる文化会館たづくりとグリーンホールは、施設の竣工から一定の年数が経過しており、多くの市民が安全で快適に利用できるよう、適切な維持補修を行う必要があります。また、グリーンホールについては、調布市公共施設等総合管理計画における基本方針に基づき、都市基盤整備の進捗や公共施設の在り方検討を踏まえ、民間活力の活用を視野に多角的な検討に取り組み、今後の方向性や施設整備に関する考え方を整理する必要があります。



パラアート展案内チラシ

基本的取組の内容

19-1 市民の芸術・文化活動の促進

◆芸術・文化にふれる機会の確保

調布市文化・コミュニティ振興財団や関係機関との連携の下、市内の芸術・文化資源や人材を活用するなど、市民ニーズに合わせた多種多様な芸術・文化事業を実施し、市民が身近に芸術・文化にふれることができる機会の確保に努めます。

◆芸術・文化活動の場の確保

市民の自主的な芸術・文化活動の活性化にもつながるよう、文化会館たづくりやグリーンホール、せんがわ劇場、公民館、コミュニティ施設などの活用により、活動の場の確保や市民団体の活動を支援します。

◆芸術・文化活動に関する情報の提供

芸術・文化活動について多くの方に関心を持っていただけるよう、調布市文化・コミュニティ振興財団が発行する広報紙のほか、サークルガイドブックやちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」、各種SNSなど、市の様々な情報媒体を活用したきめ細かな情報提供に努めます。

◆芸術家・文化人や地域資源との連携によるまちの魅力づくり

音楽、演劇、映画などの調布にゆかりのある芸術家や文化人、桐朋学園、映画映像関連企業、また、市民ボランティアなど、地域資源である人材や団体との連携協力した取組の推進により、地域の魅力を高めるとともに、新たな芸術家・文化人の支援に取り組みます。

◆多様な分野との連携と地域固有の文化資源の活用

市内の様々な有形・無形の文化財など、地域固有の文化資源を活用し、産業・スポーツ・国際交流・教育・福祉など多様な分野と連携した事業に取り組みます。

◆せんがわ劇場のあるまちづくりの推進

地域団体や大学、市民等との協働を進め、地域の魅力を高め、地域と共にまちづくりを推進します。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合	53.9% (平成30(2018)年度)	60.0% (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	61		区分	継続	担当課	文化生涯学習課
事業名	芸術・文化事業の実施					
事業の概要	文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場での音楽、演劇、映画などの鑑賞及び参加型の事業を実施します。 ※ 事業費については、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の施設管理を含む指定管理料と財団の自主事業に対する補助金を計上しています。					
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度		
	○文化会館たづくり指定管理事業 ・芸術・文化の振興事業 ・施設の管理運営他 ○グリーンホール指定管理事業 ・芸術・文化の振興事業 ・施設の管理運営他 ○せんがわ劇場指定管理事業 ・芸術・文化の振興事業 ・施設の管理運営他 ○財団独自・共催事業 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進 ・東京2020大会と運動した文化プログラムの実施	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ・継続	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続	
事業費 (百万円)	1,210	1,210	1,195	1,195		

19-2 芸術・文化施設の整備・運営

◆活動拠点となる施設の適切な維持管理・運営

市民の自主的な芸術・文化活動の場となる文化会館たづくりやグリーンホール、せんがわ劇場などの施設の適切な維持管理と、様々な分野と連携した効率的な運営を推進します。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率(ホール系・会議室系)	ホール系84.9% 会議室系78.1% (平成29(2017)年度)	ホール系 87.0% 会議室系 80.0% (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	62					
事業名	芸術・文化施設の維持・補修		区分	継続	担当課	文化生涯学習課
事業の概要	文化会館たづくり, グリーンホール及びせんがわ劇場について, 計画的に改修を行います。					
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度		
	○文化会館たづくり施設改修工事等	○継続	○継続	○継続		
	○グリーンホール施設改修工事等	○継続	○継続	○継続		
	○せんがわ劇場施設改修工事等	○継続 ○グリーンホール特定天井改修・空調機更新	○継続 ○文化会館たづくり特定天井改修・空調機更新	○継続		
事業費(百万円)	164	224	1,052	698		



参加と協働の視点

～市民等に期待される役割～

- 市民は, 自らの関心や生活スタイルに合わせ, 芸術・文化の鑑賞や芸術・文化活動に参加します。
- 事業者は, 地域特性に合わせて, 市民が芸術・文化にふれる機会や場の提供に協力します。

多様な主体との連携事例

○ 調布市民文化祭

調布市民文化祭は, 昭和31(1956)年に参加6団体から始まり, 平成30(2018)年の第63回は参加26団体により開催しました。

日頃, 研鑽を積んでいる市民の芸術・文化・学習活動の発表の場として, 広く市民に公開する中で, 市民が相互に刺激し合うことにより, 調布市の文化交流とコミュニティ意識の向上を図ることを目的として, 毎年10月から11月までの1箇月間にわたり, たづくり, グリーンホール及び各公民館において, 展覧・展示及び発表・大会を実施しているほか, 市民文化祭を広く市民に知ってもらうため, 駅前広場で文化フェスタを開催しています。

【所管課】文化生涯学習課

【協働のパートナー】調布市民文化祭実行委員会, 調布市文化協会, 調布市文化・コミュニティ振興財団



<調布市民文化祭の様子>